

緊急調査結果 金融・経営状況調査アンケート

【金融状況 回答数301】

1、最近の金融機関の姿勢で従来にない新たな変化はありましたか。

イ、変化あり 51社 16.9%
ロ、変化なし 239社 79.4%

2、最近、金融機関から「経営改善計画書」のような文書の提出を求められましたか。

イ、求められた 10社 3.3%
ロ、求められていない 279社 92.7%

3、現在の借入金残高の中で保証協会の保証を受けている額はおよそ何パーセントですか。

0%—52社 17.3% 1~49%—73社 24.3%
50%—22社 7.3% 51~99%72社—24%
100%—35社 11.6%

4、現在の借入金残高は、1年前（2000年9月）と比べて増えましたか。減りましたか。

イ、増えた80社 26.6%
ロ、変わらない66社 21.9%
ハ、減った 135社 44.9%

5、国民生活金融公庫（国金）の融資を活用していますか。

イ、はい 156社 51.8%（うちマルケイ融資16社10.3%
 運転資金76社48.7%設備投資16社10.3% その他4社2.6%）
ロ、いいえ151社 50.2%

6、また、最近1年間に国金から貸し渋りにあったことがありますか。

- イ、ある 27社 9%
- ロ、ない 242社 80.4%

7、御社は金融機関から債務者区分のうちどのランクにあるか聞いていますか。

- イ、聞いている 30社 10%
- ロ、聞いていない 256社 85%

8、今年に入り「銀行取引約定書」の改定が各銀行で行なわれています。新しい「銀行取引約定書」への変更はすみしましたか。

- イ、済んでいる 20社 6.6%
- ロ、まだ 82社 27.2%
- ハ、知らない 189社 62.8%

9、信用保証協会に対するご意見・ご要望、または、最近の事例などがありましたらお書きください。

10、大阪府や国に対し、景気対策、金融、税制などでのご意見・ご要望をお聞かせください。

【経営状況】

1、売上げについて

- イ、売上は伸びている 79社 26.2%
- ロ、過去3年の平均を維持している 77社 25.6%
- ハ、減少傾向にあるが回復は見込まれる 99社 32.9%

回復にかかる期間は

- 半年 8社、1年 18社、1年半 10社、2年 10社、2年半 4社
- 3年 8社、3年半 2社、4年 1社、5年 3社

ニ、激減し回復は見込めない。業種転換を考える。

37社12.3%

2、御社の資金的余裕は

イ、潤沢に潤っている 30社10%

ロ、今は大丈夫だが今後不安 168社55.8%

ハ、厳しくなり資金調達を考えている 45社15%

ニ、余裕がほとんどない 45社15%

ホ、返済条件変更などを実行している22社7.3%

ヘ、その他 2社0.7%

3、また、現在、資金的余裕がある期間は

イ、3～5年 30社10%

ロ、1年 71社23.6%

ハ、6ヶ月 59社19.6%

ニ、3ヶ月 70社23.3%

ホ、1ヶ月 22社7.3%

ヘ、全く余裕ない25社8.3%

4、御社の資金調達について

①取引銀行からいつでも借り入れできる 112社37.2%

②担保を用意すれば借り入れ可能 61社20.3%

③取引銀行からは無理 22社7.3%

④保証協会へ申し込むつもり 41社13.6%

⑤保証協会へ申し込んで審査中 5社1.7%

⑥保証協会へ申し込んで断られた 4社1.3%

⑦国金へ申し込むつもり 41社13.6%

⑧国金へ申し込んで審査中 3社1%

⑨国金へ申し込んで断られた 9社3%

⑩その他 30社10%

5、不況を回復させるために必要なことは（複数回答可）

- イ、個人消費を回復する 208社69.1%
- ロ、所得減税の実施 81社26.9%
- ハ、中小企業向け官公需の増大 61社20.3%
- ニ、構造改革の実施 131社43.5%
- ホ、不良債権の最終処理の断行 72社23.9%
- ヘ、大企業がリストラをもっとすすめ収益体制を整備すれば中小企業にも
収益が回る 23社7.6%
- ト、その他 45社15%